



学校教育目標

「皇子山中学校・校区」を愛し、校区の次代を担う生徒

- ・「やっぱり皇中が好き」といえる生徒（愛校心）
- ・「皇中生」としての誇りをもてる生徒（自信と誇り）
- ・「皇中校区が好き」といえる次代を担う生徒（校区愛）

滋賀の教育大綱

未来を拓く心豊かでたくましい人づくり
～「三方よし」で幸せ育む滋賀の教育～

- 柱1. 夢と生きる力を育む
- 柱2. 学びの基盤を支える
- 柱3. みんなで学びに関わる

第4期大津市教育振興基本計画

一人ひとりが輝き、
ともに未来を創る大津の教育

1. 一人ひとりの可能性を引き出し、
心豊かに生きる力を育む
2. すべての子どもが安心して学ぶ教育を推進する
3. ともに学び支え合う社会の実現を目指す

保護者や地域の願い

- ・元気に通ってほしい
- ・安心安全な学校になってほしい
- ・心身ともに健やかに育ってほしい
- ・学習、係活動、部活動など、子どもが活躍し
認められる場があり、自信につなげてほしい

学校経営目標

ともに輝く！皇子山中学校

1. 安心・安全な学校
2. ともに学び、ともに育つ学校
3. 地域とともにある学校

校訓

希望
前向き、希望を持ち続けよう！
すこやか
誰もが安心して学び、心・知力・身体を鍛えよう！
ふかき愛
我が校を愛し、自他を愛し、大切にしよう！



重点取組

校内研究主題

学びに向かう力の育成

◆学びの基礎づくり

- ・自己存在感・自己決定の場を設定
- ・仲間を尊重し学び合う態度
- ・聴き合える関係づくり
- ・グループ学習の場づくり
- ・学習環境や読書習慣づくり

授業づくり

- ①主体的・対話的で深い学びの授業の創造
 - ・学び合い学習を土台とした授業づくりの実践
 - ・小テストや単元テストの実施等基礎学力の定着の取組の推進
 - ・勉強貯金等の家庭学習の習慣化の取組の推進
 - ・「身につけさせたい力」の明確化、指導と評価の一体化の実践
 - ・情報活用能力の育成と効果的な ICT 機器の活用

◆学びの環境づくり

- ・学習規律・学習環境の整備
- ・コミュニケーションスキル指導
- ・きめ細かな把握と丁寧な指導
- ・家庭との連携

集団づくり

- ②自他を認め合い支え合い高め合う学級集団作り
 - ・所属感や自己存在感、自己有用感を感じ取れる学級経営
 - ・規範意識の醸成と自己指導能力の育成
 - ・「いじめをしない・させない・許さない」
雰囲気の醸成
 - ・不登校対策と個別支援
(SC 活用、オアシスルームの充実)
- ③生徒の主体的活動の推進と自治力の育成
 - ・学級会活動や係活動の活性化
 - ・生徒会活動や部活動等の異年齢活動の充実
 - ・学年行事等での実行委員会活動の推進

豊かな心づくり

- ④キャリア教育と豊かな心を育む体験活動の推進
 - ・職場体験学習、職業インタビュー
 - ・地域等ボランティア活動の推進 等
- ⑤人権学習の推進と道徳科の授業の充実
 - ・互いの命を大切に教育の推進
 - ・人権課題に関する系統的な学習の推進等
- ⑥特別支援教育の充実
 - ・学習環境のユニバーサルデザイン化
 - ・個別支援計画の活用と適切な支援と指導
 - ・保護者や関係機関との連携の推進
 - ・教職員研修の充実

つながりづくり

- ⑦地域連携 ～コミュニティースクールを
活かした特色ある教育活動の実践～
 - ・オールシーズンボランティア
 - ・地域に学ぶ機会の創出
- ⑧保幼小中高連携
～学校園との連携と一貫した教育の実践～
 - ・学びの礎育み事業の充実と校区研の推進
 - ・OSK 会議の充実 ・5つの約束の実践
- ⑨関係機関連携
 - ・SC や教育機関、福祉、医療、警察等との日
常的な連携の推進と充実

《 1年 》

○学年スローガン 「絆～繋ぐ～」
～「それぞれを認める」ことのできる学年～

○めざす生徒像(学年目標)・身につけさせたい力
「OGGs～ステージ1～」

- ①自分も相手も大切にすること
- ②自分で考え、判断すること
- ③最後までやりきる力
- ④自分の考えを伝える力・人の話を聞く力
- ⑤情報を正しく扱う力
- ⑥ルールやマナーを守る力
- ⑦失敗しても折れない心
- ⑧人と繋がろうとする気持ち
- ⑨自分の仕事に責任をもつ
- ⑩仲間と行事を楽しむ
- ⑪地域を愛する心
- ⑫粘り強く学ぶ力
- ⑬見通しを持って行動すること
- ⑭仲間と力を合わせ、高め合う力
- ⑮自分の未来を描く
- ⑯多様な考え・生き方を認める心

《 2年 》

○学年スローガン 「みんな打二音」
～我ら皇中二年生～

○めざす生徒像(学年目標)

- ※学年スローガン「みんな打二音」のもと、あたたかな雰囲気の中で互いを認め受け入れあう、共感的な人間関係と信頼関係を基盤にした学年集団を育成する。
- ・第1学年で培った集団の団結力や盛り上がり大切に、学年集団に対する愛情をもつ生徒
- ・安心で安全な環境のもと、あたたかな雰囲気をつくる生徒
- ・規範意識に基づき、規律ある生活の中で正義を貫く生徒

○具体的取組

- ・「心で感じて、心で動く」～互いの信頼関係のもと、あたたかい雰囲気あふれる学年集団を目指す。
- ・生徒情報の共有と迅速な組織対応で、積極的な生徒指導を心がける。特に、生徒指導の三機能を活かした取組を推進する。
- ・日々の活動を通して、保護者・地域との信頼関係を構築する。

《 3年 》

○学年スローガン 「With a Happy Smile」
～みんなで協力しあうあたたかい学年に～

○めざす生徒像(学年目標)

- ・学年という集団の中で生活していることを意識し、お互いを認め合い、共に協力しあう生徒
- ・卒業後の進路を自ら選択できるよう学習や行事等に主体的にそして粘り強く取り組む生徒
- ・最高学年としての自覚を持ち、規律ある生活を送ることが出来る生徒

○具体的取組

- ・一人ひとりの生徒が安心して、笑顔で学校生活を送ることが出来るよう居場所作りを行う。
- ・学習環境を整え、生徒自らが学びに向かう授業づくりに努めるとともに、家庭学習の定着を図る。
- ・学級委員を中心に学級会等を行い、自ら考え行動できる学級・学年集団づくりを行う。
- ・ピギン・オン・チャイムやスタイル・オン・チャイムなど規律ある生活を促す。

信頼関係を基盤とした学校指導体制の構築

生徒や保護者、地域から信頼される教職員

- ～教師こそが最高の教育環境 温かいけれど甘くない、厳しいけれど怖くない～
- ・教育的愛情を持ち、一人ひとりの生徒を大切に教職員
- ・使命感と責任感を持ち、率先垂範に努める教職員
- ・社会の変化に対応し自ら研修に励み学び続ける教職員
- ・生徒が安心して共に学び、進んで取り組む授業を創造する教職員
- ・心をひとつにチームで指導、対応する教職員

教職員が一丸となって組織的に対応する生徒指導

～ チーム 皇子山中 ～

- ・万全を期したりスクマネジメント、危機管理意識・人権意識の向上
- ・指示系統の明確化、「報告・連絡・相談」の徹底、共通理解、共通実践
- ・同僚性を高め、互いに補完し、指摘し合える職場環境づくり
- ・関係機関や専門家等の指導助言の積極的な活用
- ・OJT 研修のさらなる推進と教職員研修の充実